

まち活のつうしん

ねりまま5づくりセンター

取材 / 2009年9月26日

—集合時間が近づくと、泉新公園にはあそびの城スタッフの皆さん、子どもたちや保護者の方々が次から次へと集まり、静かだった公園は一変、にぎやかな声に包まれました。イマドキの子どもたちは家でゲームに夢中なのでは…なんて心配はご無用！あそびの城の子どもたちは外遊びの達人です。子どもたちの元気なパワーを受けて、大人たちも張り切ります。子どもも大人も、パワフルに、あそびの城で遊ぼう！

一生懸命遊んで、学ぶ。

『光が丘ウォーキング』は、参加人数約100人にもなる人気イベント。青いユニフォームのスタッフさんたちがテキパキと受付をし、班分けをしていきます。

ウォーキングスタート！

今回は泉新公園から、3つのチェックポイントを通して、光が丘公園を目指

す片道約4kmのコース。ルートは地図を見ながら子どもたちが決めます。大人は口出し禁物ですよ！各班についた2～3人の大人は、ウォーキング中に子どもたちが交通ルールを守っているかを採点します。こうして子どもたちは遊びのなかで学び、大人も一体となってイベントに参加しています。『ルールを守って、一生懸命遊





ぶ』。これが、あそびの城の大切な考えなのです。

約3時間のウォーキングのあとも、子どもたちはまだまだ元気いっぱい！スタッフお手製の木工やおもちゃで遊んだり、自分で遊びを開発していきます。「今も昔も子どもは外で遊ぶのが楽しいし、好きなんですよ」と語るスタッフさんは、温かい眼差しで、はしゃぎまわる子どもたちの姿を見守っていました。

大人も楽しく

「ほら、大人も楽しそうですね？」

汗を光らせ火おこしするお父さんたち、手伝いをするお母さんたちからも、楽しそうなおしゃべりや笑い声。子どもを預けっぱなしにするのではなく、同じ時間を過ごし、大人たちも楽しむ、そして保護者同士のコミュニケーションの場としても、あそびの城は大切な役割を担っています。

みんなが子どもの先生です

あそびの城では様々な人がそれぞれの得意分野で、子どもたちの先生になっています。野外炊飯ではキャンプの達人が大活躍。地域集会所などで行われる将棋やけん玉教室では、地域のお年寄りも、子どもたちから「先生～！」と呼ばれます。元気な子どものエネルギーは、大人にとっても地域全体にとっても貴重な活力源です。

そして、あそびの城は活動スタッフ・保護者・学校・地域の人たち・老人会と連携・協力し合い、ますますその活動が広がり続けています。





みんな遊びの天才だ!

ストロー鉄砲!?

竹筒にあけた穴から、ゴムの力でストローを飛ばす。ビューっときれいに飛んでいきます。

どんぐりコマ

昔懐かし、素朴な遊び道具。かたちによって様々なまわり方を眺めるもよし、どんぐりコマ相撲も楽しい。

落ち葉で火おこし

枯れ葉と枯れ枝を使ったサバイバルな遊びにも、子どもたちは興味津々。安全のために大人の人と一緒にやりましょう。

ドッチビー

柔らかいので、当たってもへっちゃら。フリスビーとしてだけでなく、ドッチボールのルールで遊ぶことも。ドッチボール+フリスビーでドッチビー!



団体さん、今日を振り返る。 活動メンバー青柳さんのお話

あそびの城では、何回かウォーキングを開催していますが、毎回初めての体験をできるように企画しています。今回、途中で有人ポイントになった公園は3ヵ所あり、初めて行く公園でした。また、公園で催したゲームは大好評でした。ゴールの光が丘公園パーベキュー広場では、竹筒ごはんや牛乳パックでホットドックを作り、大人も初めての体験でした。スタッフも参加者も一緒になって協力しあい、楽しい一日を過ごせました。



▶ ゆうき先生のカバンには色々なおもちゃの材料が! 工作して簡単に作っちゃいます。

あそびの城スタッフのみなさん

活動団体基本データ

設立

2005年4月

活動テーマ

子どもの居場所作り / 子ども同士の上級生と下級生のつながり作り / 地域の方との交流の場 / 伝承遊び

活動実績

子どもの居場所作りとして立ち上がり、土曜日に学校や集会所を借りて、伝承遊び、季節や地域の行事、スポーツなどの活動をしました。

団体連絡先(電話/FAX)
03-5387-6384(青柳)

Eメール
cf9773@a3.mnx.ne.jp

団体拠点案内



活動場所

泉新小学校
(三原台3-18-30)

ねりまっぴ

これからの展望

より広く、 開かれた場所として

現在の主な参加者は低学年の子どもたち。高学年の子が増えると、子どもたち同士での見守りや、高度な遊びもできるようになります。また、屋内での広い遊び場の確保が難しい状況です。学校の体育館や空き教室はクラブ活動などが優先なので、なかなか使わせてもらえません。地域や学校との理解・連携を深めて、より広い活動を目指します。

今後こんなグループとつながりたい!

NGK/ネリマ・ベジタブルカフェ/石神井・冒険遊びの会/アーティスト・イン・児童館

活動メンバー紹介

亀田 秀子 さん



「あら、こんにちは」とまち中で頻りに声を掛けられていた亀田さん。あそびの城が大きく成長したのは、「亀ちゃん」の顔の広さとネットワークがあってこそ。

青柳 直美 さん



小5と小6の娘姉妹を持つお母さん。今回のイベントも親子で参加。4年ほど前に亀田さんに誘われて以来、活動を支えている保護者メンバーの一人。

他にもたくさんの方がいらっしゃいます!
是非活動をのぞいてみてくださいね。

練馬まちづくりセンター

発行日 2010年3月8日
取材/編集 練馬まちづくりセンター
デザイン 濱祐斗 [BEACH]
発行元 (財)練馬区都市整備公社 練馬まちづくりセンター
練馬区豊玉北4-29-8 練馬センタービル3階
Tel 03-3993-5451 Fax 03-3993-8070
Email machi@nerimachi.jp Web http://nerimachi.jp

練馬まちづくりセンターは、練馬区民が住み続けたいと思えるような美しい地域環境と豊かな地域社会を実現するために、区民の主体的なまちづくり活動を支援するとともに、区民・事業者・行政から独立した連携を図る、中間的な立場から協働型まちづくり事業を実践する組織です。

練馬まちづくりセンターは“まちづくり活動助成事業”で、泉新小あそびの城を応援しています。

まちづくり活動助成事業とは、区民が住み続けたいと思えるような美しい地域環境と豊かな地域社会を実現するために取り組む、区民主体のまちづくり活動への支援を目的としています。



【はばたき部門】助成金額30万円以内

身近な生活空間の保全改善等のために取り組むまちづくり活動への助成



【テーマ部門】助成金額1年目10万円以内 2年目50万円以内

身近な場所で生き物と呼ぶ空間をみんなで楽しみながら創り出す活動への助成



【たまご部門】助成金額3万円以内(年中受付しています)

上記2つの部門の様なまちづくり活動を始める、きっかけづくりや学習会などを開催するための助成